

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日廿一日廿四日廿七日三十日十回發行)

縣報 第三百卅八號 明治三十七年七月六日 和歌山縣

公文

○和歌山縣告示第百七十九號

明治三十六年十一月本縣令第九十六號度量衡販縮規則第六條ニヨリ西牟婁郡、伊都郡内ニ於ル營業ノ目的ニ使用スル度量衡器ノ臨檢ノ左ノ期間内各其町村役場ニ於テ之ヲ行フ

明治三十七年七月六日
西牟婁郡 自七月三十日 五十五日間
至九月廿二日

伊都郡 自八月二日 三十日間
至全三十一日

和歌山縣知事 伯爵 清棲 家 啟

○叙任及辭令

橋本警察署長警部 吉 田 順
新宮警察署長警部 高 橋 幸 之 進

橋本警察署長ヲ命ス
和歌山縣屬兼警部 野 村 儀 三

縣報第三百三十八號 明治三十七年七月六日 第三種郵便物認可

任和歌山縣警部
新宮警察署長ヲ命ス
給七拾俸

給七級俸
和歌山縣警部 若 尾 尚 平

警察部保安課勤務ヲ命ス
湯淺警察署箕嶋分署長警部 金 川 誠 之
和歌山警察署川永分署長警部 朝 比 奈 次 吉
橋本警察署高野分署長ヲ命ス

和歌山縣警部 久 富 保 治
文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス
右七月二日發

○町村長及助役ノ異動

伊都郡天野村長 安 井 哲 一
右七月四日認可
東牟婁郡三津野村助役 玉 置 常 三 郎
右七月五日認可

○觀 測

明治三十七年七月一日ヨリ三日間當地氣象概況

種別	七月一日		七月二日		七月三日	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年
平均氣壓	七四九耗〇	七五六耗五	七五三耗〇	七五四耗七	七五九耗五	七五六耗八
平均氣温	二二度五	二六度六	二一度九	二六度三	二一度四	二四度四
最高氣温	二六度五	三一度〇	二四度七	三一度〇	二六度五	二八度〇
最低氣温	一九度一	二二度二	一五度七	二二度三	一五度三	二〇度八
最多風向	南南西	西南西	北々西	東	北々東	北
平均風力	一二米三	二米五	五米〇	二米七	三米〇	三米八
天氣	雨	晴	半晴小雨	半晴小雨	晴	半晴
雨雪量	七六耗二	一	四耗八	〇耗四	一	一
記事	前夜來ノ	一	午前二時	午後二時	一	月環及日

縣報第三百二十八號

明治三十七年七月六日

第三種郵便物認可

二終

明治三十三年八月三日第三種郵便物認可

降雨終日	斷續ス	廿分ヨリ	四十四分	東南東ニ
午前八時	ヨリ夜半	時五分迄	ヨリ全四	電光アリ
迄概テ南	方ノ暴風	午後四時	ニ雷鳴	
最強ハ夕	刻ニシテ	十八分沿	夕刻微雨	
一秒時廿	米ノ速力	海ノ警報	ス南東ニ	
南方ニ電	光アリ	テ解除ス	電光アリ	

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

明治三十七年七月五日印刷
明治三十七年七月六日發行

〔金巻紙〕

和歌山縣

和歌山市久保町一丁目一番地
印刷所 和歌山市久保町一丁目二十四番地
印刷所 和歌山市久保町一丁目二十四番地

○和歌山縣告示第百六十二號

本縣公有山林造林費補助規程別紙ノ通り相定ム

明治三十七年六月十七日

和歌山縣知事

伯爵

清 榎 家 秋

(別紙)

和歌山縣公有山林造林費補助規程

第一條 本縣ノ町村若クハ町村内ノ大字又ハ一部ノ所有ニ属スル草山ニ對シ其ノ町村又ハ郡ノ經營ニ依リ造林スルトキハ本規程ニ依リ補助ス

本規程施行前ノ山林伐採跡地ハ前項ヲ適用ス但シ本規程施行後ノ伐採跡地ニ係ルモノハ補助スルノ限ニアラス

第二條 前條ノ補助ヲ爲スヘキ造林事業ヲ區別シテ左ノ二種トス

一、植樹 樹苗ヲ栽植シテ造林スルモノ

二、鐵止 自然生ノ蓋伐ヲ止メ其ノ稚樹ヲ保護造林スルモノ

第三條 植樹ノ種類及其樹種スヘキ員數ハ概テ左ノ程度ニ依ルヘシ但シ其樹苗ハ總テ三年生以上ニ限ルモノトス

一、針葉樹

二、闊葉樹

- 樟 クス
- 榲 クス
- 杉 スギ
- 扁柏 ヒノキ
- 松 マツ
- 檜 カシ、シラカシ、アカガシ、ウダガシ、イチヒガシ
- 榎 クスギ
- 栗 タノギ
- 楓 ノギ
- 欅 ヲシダ
- 樺 カシ
- コナラ
- クヌギ
- シラカシ
- アカガシ
- ウダガシ
- イチヒガシ

壹町歩ニ付 四千本以上

七千本以下

壹町歩ニ付 二千本以上

三千本以下

枹 コナラ 方言 ホン又ハホーン 榲 タヤキ 楊梅 ヤマモ、

土砂并止ノ目的ヲ以テ左ノ樹苗ヲ植栽スル場合ニ於テハ前項ノ制限ヲ適用セズ

山橙 ヤマゲクワ一名ヘクシヤリ

第四條 前條指定以外ノ樹種ト雖モ調査ノ上適當ト認ムルトキハ許可スルコトアルヘシ

第五條 鐵止ハ本規程ニ依ル手續ヲ了シテ之ヲ實施シタル翌年ヨリ起算シ第五年ニ至リ造林手入ヲ爲シ一町歩ノ成樹平均八千本乃至一万本ヲ生立センムヘシ

但シ該事業ハ町村有ノモノニ對シ其町村ノ經營ニ依ル場合ニ限ル

第六條 植樹補助ハ其ノ標準終了後凡ソ六箇月ヲ經テ實地ヲ検査シ其ノ生育樹數ニ應シ左ノ標準ニ依リ補助金ヲ交付ス但シ樹種百本未滿ハ四拾五入トス

一、針葉樹

二、闊葉樹

- 杉
- 扁柏
- 全 百本ニ付貳拾錢以下
- 全 參拾錢以下
- 全 四拾錢以下

各種 第三條第一項第

三、山橙 二號ニ列記ノモノ

前項以外ノ樹種ヲ許可シタルトキハ其ノ類似シタル樹種ニ準シ補助額ヲ定ム

百本ニ付貳拾錢以下

百本ニ付貳拾錢以下

植

樹種
數

第七條 禁止補助ハ第五條ノ造林手入ヲ了シタル後實地ヲ検査シ一反歩五拾錢以下ノ範圍

内ニ於テ其ノ造林面積ニ應シ補助金ヲ交付ス但シ一段歩未滿ハ四拾五入トス

第八條 補助ノ許可ヲ受ク造林シタルモノト雖モ左記各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ補助

率ヲ減シ又ハ補助ノ許可ヲ取消スユトアルヘシ

一、本規程又ハ補助許可ノ條件ヲ遵守セザルトキ

二、實地検査ノ結果其ノ生育樹數又ハ面積ガ許可ノ樹數又ハ面積ニ比シ三割以上枯損

又ハ荒廢シタルトキ

三、許可ヲ經スシテ地位又ハ樹種ヲ變更シ若クハ面積ヲ増減シタルトキ

第九條 第六條ノ補助金交付ヲ受ケタルモノニシテ當初許可ノ樹數ニ比シ枯損シタル部分

ハ一箇年以内ニ之カ補植ヲ爲シ其旨届出テ検査ヲ受クヘシ但シ其補植ニ對シテハ別ニ

補助セス

第十條 本規程ニ依リ補助ヲ受ケントスルモノハ別紙書式ニ依リ届出ヘシ但シ植樹ニ在リ

テハ其ノ植樹チナスヘキ前年五月三十一日迄ニ願書ヲ縣廳ニ到着セシムルヲ要ス

第三條ノ山櫻又ハ同條指定以外ノ樹種ヲ植栽セントスルトキハ其事由ヲ願書ニ詳具ス

第十一條 前條ノ出願ニ對シテハ當該吏員ヲシテ實地ヲ調査セシメ其ノ適否ヲ定ム

前項實地調査ノ結果適當ト認ムル箇所ニ對シテハ該ノ補助ヲ許可シ其ノ補助率ハ補助

金交付年度ノ豫算決定ノ上通過スルモノトス但シ應運ノ箇所多數ニシテ當該年度ノ補

助ヲ爲シ難キ場合ニ於テハ其事業ノ緩急ヲ圖リ許可ヲ定ム

第十二條 補助ヲ許可シタル箇所ニ對シテハ其ノ設計ノ變更ヲ命ジ又ハ造林ノ方法ヲ指示

スルコトアルヘシ

第十三條 補助ノ許可ヲ受ケタルモノハ左ノ區別ニ從ヒ其施行時期ヲ届出ヘシ

一、植樹 着手五日及後五日以内

二、鐵止 發表後五日以内及造林手入後五日以内

第十四條 植樹又ハ鐵止後ノ狀況ハ臨時検査ヲ爲シ其ノ保護ノ方法等隨檢吏員ヲシテ指示

セシムルコトアルヘシ

第十五條 本規程ニ依リ造林シタル箇所カ災害ニ罹リタルトキハ其ノ願末ヲ具シ直ニ届出

ヘシ

第十六條 本規程ニ依リ造林シタル箇所ノ營林又ハ伐採其他ノ施業ニ關シテハ其ノ方法ヲ

具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第十七條 本規程ニ依リ町村ヨリ提出スル書類ハ郡長ヲ經由スヘシ

附 則

第十八條 第十條第一項ノ但書ノ願書到着期限ハ明治三十七年ニ限リ九月三十一日迄トス

(願書式 甲)

植樹造林費補助願

郡町村大字(字)何々何番地

一 草山ノ土地面積 何 程 所有者 何郡町村(大字何々)

此實測面積何程

但別紙實測圖及見取圖ノ様

此ノ造林方法植樹何々(種類ヲ) 壹町歩ニ付何程ノ割合ヲ以テ植付此樹數何程

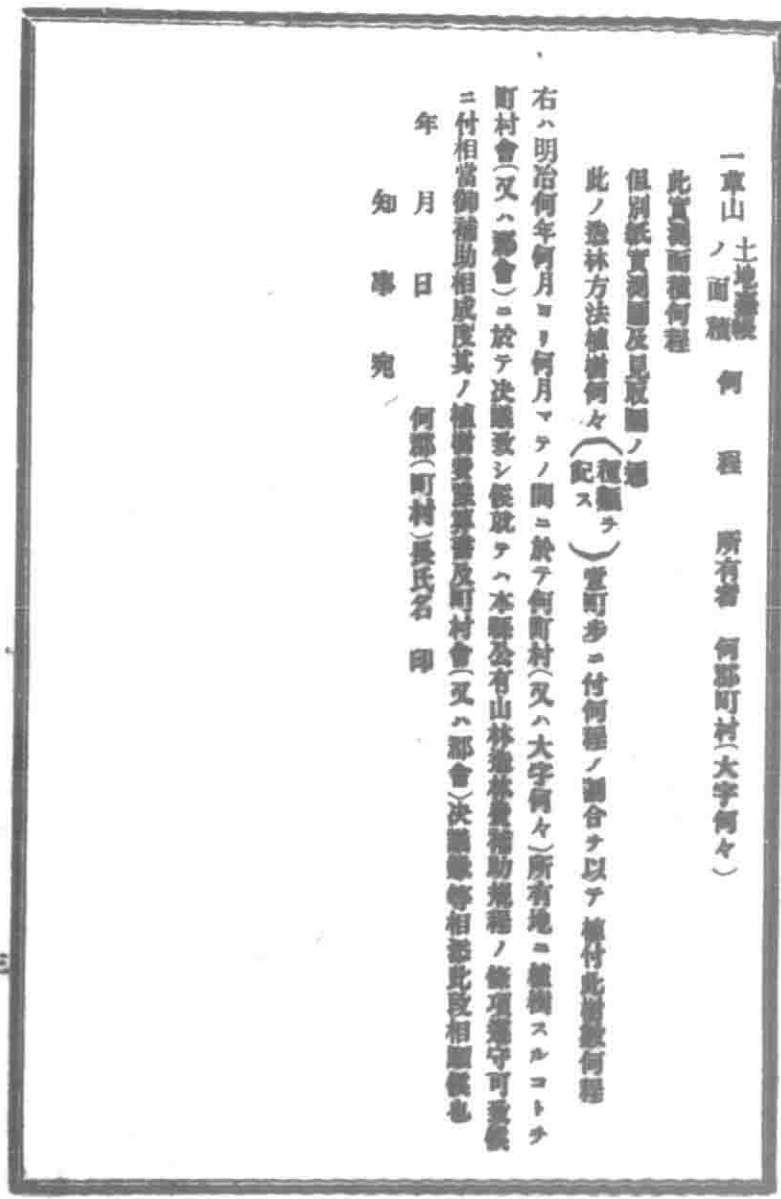
右ハ明治何年何月ヨリ何月マテノ間ニ於テ何町村(又ハ大字何々)所有地ニ植樹スルコトヲ

町村會(又ハ郡會)ニ於テ決議致シ候取テハ本縣及有山林造林費補助規程ノ條項遵守可致候

ニ付相當御補助相成度其ノ植樹費計算書及町村會(又ハ郡會)決議錄等相送此致相願候也

年 月 日 何郡(町村)長氏名 印

知 事 宛



植樹地實測

(用紙美濃紙一枚ニ寫ス)

郡町村大字地番

草山臺標面積何程

此實測面積何程

面積 計算

(イ) 一、一七五

(ロ) 五、一〇三、五

(ハ) 四、一四七

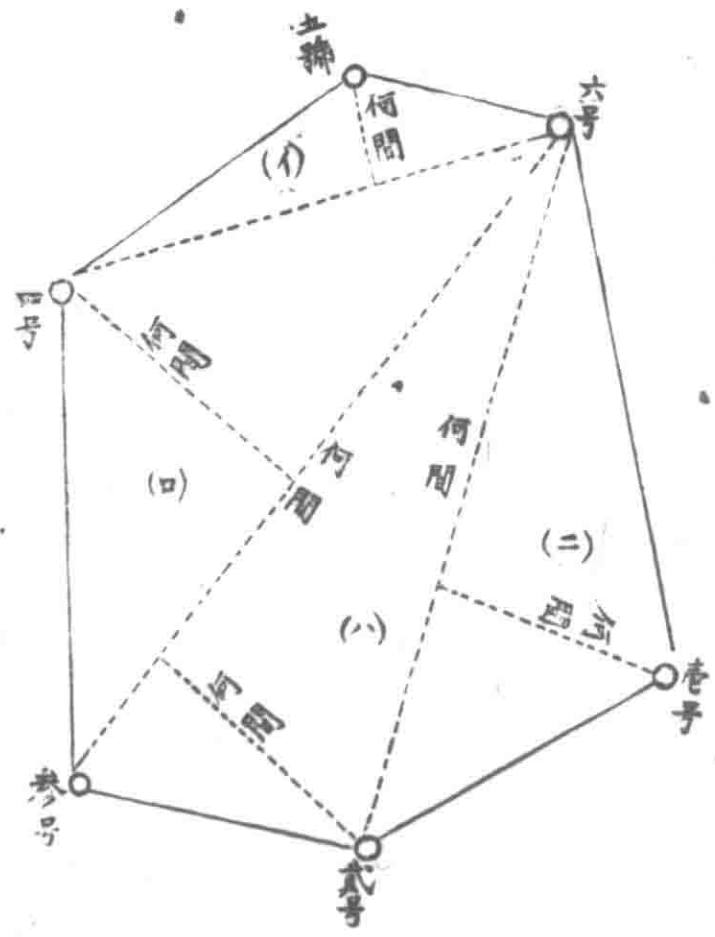
(ニ) 三、九〇〇

計一四、三二五、五

此二除七、一六二、七五

此反別貳町三反八畝廿

貳步



界標及距離

第壹號標何々

第貳號標何々

第參號標何々

第肆號標何々

第伍號標何々

第陸號標何々

此間何間

此間何間

此間何間

此間何間

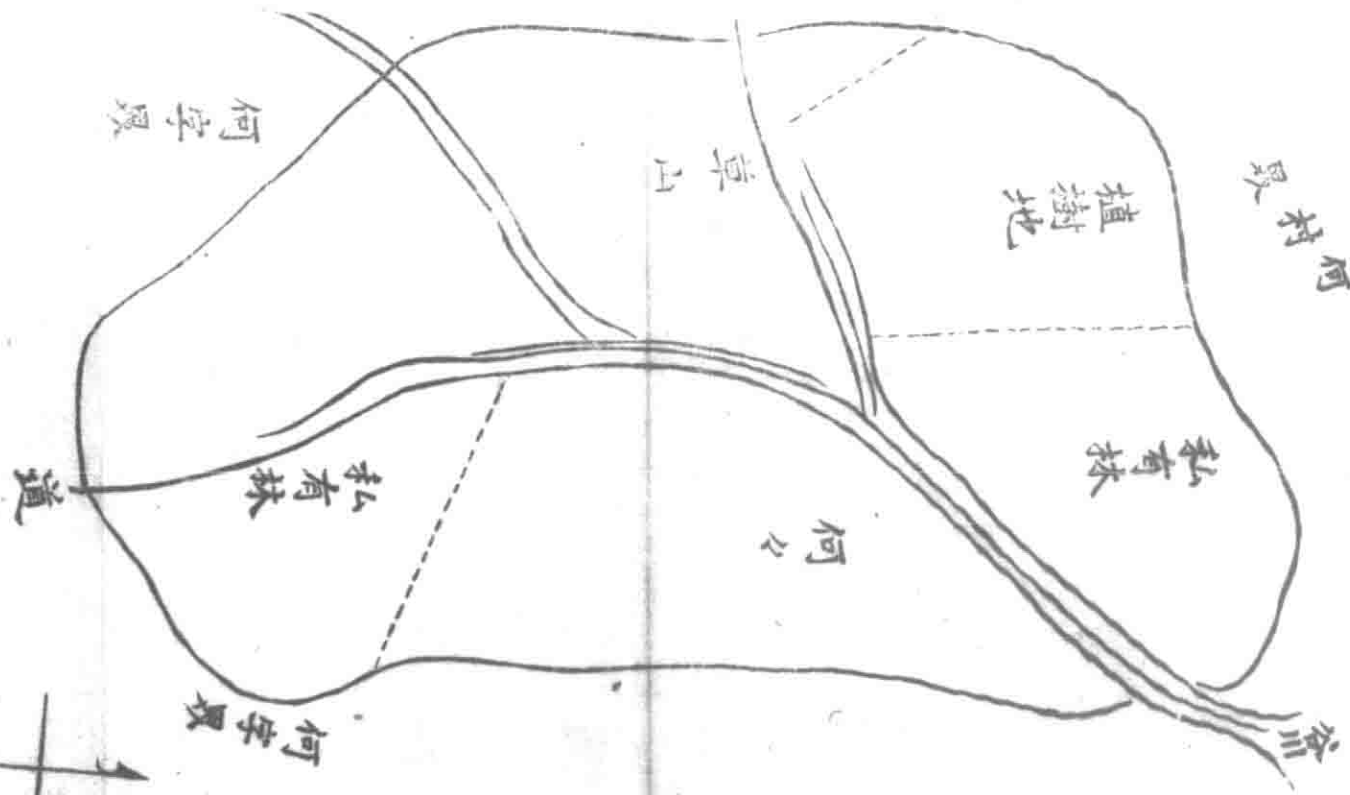
此間何間

(第何號標何々トアルハ天然石、大機、杭等ヲ明示スベシ)

植樹地 見 取 圖 (用紙美濃紙一)

何那何村(又、大字何々)ノ内字何々

取 村 何



何字 取

草山

植樹地

私有林

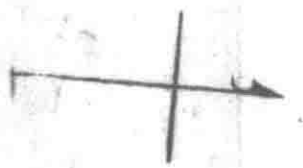
河々

私有林

道

何字 取

用



(願書式乙)

錄止造林費補助願

郡町村大字(字)何々何番地

一草山土地盛根 何程

所有者

何郡何町村

此實測面積何程

但別紙實測圖及見取圖ノ通

此造林方法

錄止

右ハ明治何年何月ヨリ本町村所有地ニ錄止ヲ爲スコトヲ町村會ニ於テ決議兼シ候成テハ本
縣公有山林造林費補助規程ノ條項遵守可致候ニ付相當御補助相成度別紙錄止施行方法書及
町村會決議錄等相添此段相願候也

年 月 日

何郡何町村長

氏

名印

知事宛

(實測圖及見取圖ハ甲書式ノ例ニ依ルヘシ)

訓内丁第五十一號

郡	警	市	町
役	察	役	村
所	分	所	役
	署	場	場

明治三十四年七月訓内丁第一四號海軍召集事務規則中左ノ通致ム
右内訓ス

明治三十七年七月九日

和歌山縣知事 伯耆 清橋 家 敬

一附録第二號注意中電文中ニ數字ヲ記スニハ以下ヲ左ノ通致ム

一電文中ニ數字ヲ記スニハ左ノ略語ト共ニ用ユ

照語 一 二 三 四 五 六 七 八 九 〇
略語 イ フ ナ ヲ シ ヲ コ ロ ナ ヤ ク ラ

電 文 例

第一例

原文五日午前海軍後備役卒ノ充員召集ヲ合セラル

電文(五ヨ)ニチイセンカイグンコウビエキソツノヲウインセウシウチレイセラル

第二例

原文二十八日午後三十六年十月十五日以後現役ヲ離シタル海軍後備役下士卒ノ充員召

集ヲ合セラル

電文(二八フヤ)ニチイイ(三六ヤロ)チソ(一〇イラ)グツ(一五イコ)ニチイイグンエ

キチハナレタルカイグンヨビエキカシツノヲウインセウシウチレイセラル

(備考)召集電文以外ニ於テ五數字ヲ用ユル場合ニ特ニ確實ヲ要スルトキハ右ニ準シ使用
ス

290

郡役所
市役所
町役場

第一國民兵役ニ在ル者ニシテ左ノ各項ニ該當スル者ハ本籍市町村長ニ於テ適宜ノ方法ニ依
リ之ヲ調査シ其職名并武官名下士以下ニ在テハ元官兵種等職氏名及住所等ヲ市長ハ直ニ町村長ハ郡長ヲ經
テ聯隊區司令官ニ通報スルト同時ニ當屬ニモ報告スヘシ爾後異動アルトキハ今回ノ職役中
ニ限リ其都度右ニ準シ通報スヘシ
但シ左ノ各項ニ該當スル者ナキ町村ニ在テハ其官郡長ニ報告スヘシ
右内訓ス

明治三十七年七月十三日 和歌山縣知事 伯爵 清 榎 家 致

記

- 一 帝國議會ノ議員
- 二 海技免狀ヲ有シ現ニ船舶ニ乗組ミアル者
- 三 海員試験規程ニ於テ通信大臣ノ允當ト認ムル學校ヲ卒業シ現ニ登壇噸數百噸以上若クハ千石積以上ノ船舶ニ乗組ミアル者
- 四 水夫長、水夫、舵夫、火夫長、火夫、油差、賄方トシテ現ニ登壇免狀ヲ受有スル船舶ニ乗組

ミアル者